

第4回鹿野地域振興会議

日 時 平成28年8月19日(水)

13:30～15:30

場 所 鹿野町総合支所 会議室

出席者 井上秀隆委員、乾隆史委員、兼平恵委員、佐々木千代子委員、筒井洋平委員、田中文子委員、林輝幸委員、伊井照幸委員、廣田敬祐委員、山下直司委員、向井健太郎委員 11名出席

事務局：徳岡支所長、乾副支所長、岡田産業建設課長、上野市民福祉課長、西浦地域振興課補佐

傍聴者：なし

1 開会

2 会長あいさつ

8月8日地域振興会議会長会の報告

- ・小中一貫校について、市長から「地域の要望に応えたい」という回答をもらう。
- ・公共交通機関の確保について

河内～宝木線のバス路線が廃止になり、気高循環バスとなったが、昼間の便がなくて困っている。また、夏休みにバスの運行がなくて、学校の出校日等に支障が出ている。

事務局 気高循環バスは朝と夕の便があり、小学校では夏休み期間中に水泳練習、出校日6日間ある。児童は午前中で帰宅することになる。小鷲河地区の児童については、日交バスと交渉して、臨時のバスを運行した。鬼入道・二ツ家・法楽寺の児童はスクールバスで対応した。

会長 児童がBGプールを利用する場合、昼間のバスの便の運行が必要です。自転車で長い距離を走らせるのは不安である。

T委員 老人クラブの会議で午前中に終わっても、午後の早い時間のバス便がなくて困っている。

I委員 乗用車に乗せてあげる場合、事故等が起こった時に運転手に責任がかかる。

H委員 学校応援団の方に協力依頼してはどうか。

会長 利用者の要望に合うように、公共交通機関の確保を再度検討していく必要がある。

3 報告事項

(1) 経過報告について 資料1

事務局より資料1により、行事等の経過報告と今後の予定を説明。

Y委員 鹿野財産区議会とはなにか。

事務局 平成16年の鳥取市との合併前に鹿野財産区管理会を議会として条例化した。

H委員 地区運動会の開催で雨天の場合はどうなるか。

事務局 鹿野地区・勝谷地区は雨天順延しない。小鷲河地区は旧小鷲河小学校体育館で行う。

(2) 鹿野地域小中一貫校推進状況について 資料2

事務局より資料2を基に説明。

M委員 ブロック制とはなにか。

事務局 9年間の義務教育期間をたとえば「3.4.2制」、「5.4制」というように学年でまとめたり、区切りを付けることである。

I委員 委員会のまとめは推進委員会で行うのか。

事務局 推進委員会の原案をつくるのが2つの部会である。各部会の共通認識を高めてきたが、第3回推進委員会から具体的な項目の検討になる。

(3) 気高道の駅(仮称)整備推進状況について 資料3

事務局より資料3を基に説明。

H委員 ワーキンググループの中に地元自治会の方が入っておられるが、地元からの要望はなかったか。

事務局 地元からの特別な要望はなかった。現在、魅力ある地域づくり、魅力ある道の駅のあり方を検討しており、推進ワーキンググループ会議2回、整備推進委員会3回を予定している。

I委員 パブリックコメントの意見の回答はどうなっているか。意見は反映されているか。

事務局 パブリックコメントの意見を取り入れて基本構想・基本計画を作成している。パブリックコメントに対する回答は一覧表にして公表している。

T委員 平成31年の道の駅オープン時に、鳥取西ICと吉岡ICの区間は開通するのか。
事務局 道の駅完成時には全線開通している見込みである。

4 議題

(1) 委員提案議題について

①防災無線について

事務局より資料4を基に説明。

I委員 熱中症や食中毒の注意喚起の情報が流れていない。

事務局 鹿野地域ではアナログ放送のため防災無線では流していない。

T委員 地域限定の情報や時報のチャイムはなくなるのか。火災のサイレンもなくなるのか。

事務局 地域限定のイベント、行事の放送はなくなる。時報のチャイムは鳥取地域と一緒にになる。火災については、消防団員に直接情報が行く。地域限定のイベント情報等はケーブルテレビやホームページなどを積極的に利用してほしい。

(2) その他

①週末だけのまちのみせ

S委員 9/17～9/25の期間城下町鹿野に週末だけの店が出る。県外からの出店者も増えている。空き家等の利用できる場所が不足しており、今回テントでの営業もある。

②そばの作付け推進について

H委員 そばの作付け面積の目標が50haであるが、達成されていない。鹿野産そば100%でのそばの提供をしたいが、年間を通すと生産量が足りていない状況がある。転作作物としてのそばの奨励金や補助金を確保するなどして生産者に利益が上がるようにしてほしい。

5 その他

次回は10月24日の週に鹿野町総合支所で開催予定。

6 閉会